

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月3日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100990		
法人名	株式会社 ピッチ&パッチ		
事業所名	グループホーム よいしょ!春採		
所在地	北海道釧路市春採1丁目14番6号 (電話) 0154-64-6080		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年2月29日	評価確定日	平成20年4月14日

【情報提供票より】(平成20年2月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	14人, 非常勤 4人, 常勤換算 15.8人

(2) 建物概要

建物構造	枠組壁工法 木造 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,000 円	その他の経費(月額)	26,000~31,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無		有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350 円	昼食	300 円
	夕食	350 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,100 円			

(4) 利用者の概要(2月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名	
要介護1	5 名	要介護2	2 名			
要介護3	8 名	要介護4	3 名			
要介護5			要支援2			
年齢	平均	81 歳	最低	68 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	柴田内科胃腸科医院・望洋歯科クリニック・清水桜が丘病院
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

居間や居室の窓からは天然記念物のひぶながいる春採湖を眼下に一望にできる眺望のよいグループホームです。ホームの前庭にはバードテーブルが置かれ、利用者が餌やりを日課としています。管理者と職員は認知症高齢者の介護に熱意と情熱を持ち、日々の介護にあたっています。経営者は認知症高齢者のみならず、障害を持つ方たちにも地域の中で当たり前のような生活ができることを目指して運営をしています。本人が安心してその人らしく生活するための介護計画作成のために、大変詳細なアセスメントを行い、活発な意見交換の中で具体的な目標をたてています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価ではホーム便りの発行について提案があげられていましたが、現在までに2回発行されています。緊急時のわかりやすい対応マニュアルも作られ、感染症マニュアルも職員の目につく場所に置かれています。
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価は、それぞれの職員が分担し、管理者が中心となって全体で話し合って決定しています。また、自己評価の結果、外部評価の結果については運営推進会議でも報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在3回実施されています。主な議題については地域防災の取組みについて生活支援計画ができるまで外部評価についてホームの歴史と現状について町内会の歴史と状況について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との話しやすい雰囲気作りを重視しています。運営推進会議にもご家族の参加がありご意見をいただいている他、重要事項説明書に法人内部だけではなく、外部の苦情相談窓口を明記しています。また、苦情処理フローについても提示されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の盆踊りなど行事に参加するほか、近くの中学校の生徒さんが壁新聞の取材に訪れたり地元のラジオ局の取材を受けたりしています。ホームからは野外昼食会、クリスマス会、ホテルでの昼食会などに町内会に声をかけて交流をしています。また、近所の子どもたちが日曜日になるとお弁当を持って遊びに来てくれています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念をつくり、地域との関係を大切にしながら利用者にもう一つの我が家として笑顔で暮らし続けられることを目標にしています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者から職員に対しての指導ということばかりではなく、介護計画の作成やアセスメントの会議などでも職員がお互いに利用者に対する日々の対応について考える中で理念が共有され、実践に向けて取り組まれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の盆踊り大会や保育園の行事などに参加したり、ホームの行事として行っているバーベキュー大会やクリスマス会に地域の方たちをご招待するなどしながら交流に努めています。また、近所のお子さんが日曜日にお弁当を持って遊びに来てくれています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価はそれぞれの職員が分担し、管理者が中心となって全員で話し合っています。また、自己評価や昨年の外部評価の結果については運営推進会議でも報告され、緊急時の見やすいマニュアルを作るなどの具体的な改善に取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は利用者のご家族、町内役員、民生委員、地域包括支援センター職員とグループホームの代表、管理者などで構成され冊子「サービス評価と運営推進会議を活かして」を配布するなどしながら具体的な話し合いをし、サービス向上に活かしています。</p>		<p>運営推進会議は現在までに3回行われていますが、今後は定期的開催され、地域やご家族などのご意見を更にサービスの向上に役立てられることを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>経営者・管理者は必要に応じて日常的に市の担当者と連絡を取るほか、市主催などのセミナーや勉強会には積極的に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいます。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、近況報告の手紙と共に金銭管理についても報告をしています。また、異動については各ユニットのご家族に知らせています。ご家族の来訪時には普段の様子等をお知らせし、状況の変化時には電話でお伝えしています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族がご意見を言いやすい雰囲気作りに努めています。また、苦情等の法人受付窓口をお知らせするほか、重要事項説明書には外部の相談窓口も明示しています。運営推進会議にもご出席いただいてご意見を伺い、運営に反映させています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の退職時には事前に新しい職員を採用してサービスの低下を防いでいます。また、入居者間で別ユニットへの訪問もあり、利用者へのダメージを防ぎながら、職員が全体の利用者像が見えてくるようなユニット間の異動も行っています。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新任の職員にはオリエンテーションをし、同行介護研修を行っています。外部の研修会にも時給が支払われ、積極的に参加することが奨励されています。また、職員のスキルアップのための資格取得を奨励し、資格取得のための有給休暇が認められる他、資格に応じて手当も支払われています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加し、勉強会への積極的な参加の他、交換研修なども行われ、交流が行われています。また、レクリエーションなども共に行い交流しながらサービスの質の向上をさせていく取り組みをしています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、入院していれば面会に行き、来られる方には見学に来ていただき、ゆっくりわかりやすく説明をしています。必要であれば何度でも見学に来ていただき、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐徐に馴染んで納得してもらってから入居してもらうようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日時間を決めてカスピ海ヨーグルトをつくってくださったりおしぼりをたたんでくださっている他、野菜の皮のむき方や包丁の持ち方など経験に基づいた様々なことを教えていただきながら本人と共に支えあう関係構築に努力しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>大変詳細なアセスメントを行い、利用者一人ひとりの思いや意向の把握に取り組んでいます。日常的な食事の支度などの役割を持つことや出前、外食、外出などの希望の他、一泊の旅行など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>時間をとって家族面談を行い、希望や意向の確認をしています。ご家族のお話と日常のご本人との会話などを大切に、会議の中で職員全員で共有され、大変詳細なアセスメントが行われると共に介護支援専門員の適切な監理のもとにそれぞれの意見やアイデアを反映した具体的な介護計画を作成しています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間終了前に評価を行い必要があれば見直しを行っています。退院時など変化があった場合にはスタッフ会議を行い、ご家族とも話し合って随時、現状に即した介護計画になるようにしています。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>近くにある同法人経営の三障害の方たちのケアハウスでカラオケをしたり、日帰りや一泊の旅行など本人の希望等に応じて柔軟な支援をしています。亡くなった入居者さんのお葬式には全員で正装しお葬式に行くことなどもしています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	入居前からのかかりつけ医にかかっている方がたくさんいらっしゃいますが、往診もあり夜間などにもその都度の対応をしていただいています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「重度化した場合の対応指針」が明確化され、本人やご家族の意志が確認されています。また、マニュアルも完備され往診医等との連携もできています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけを行っています。また、記録等は決められた場所に保管するなど配慮されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	寝る時間、起きる時間、食事の時間、外出、入浴時間などその日の一人一人の希望やペースにあわせて生活できるように支援しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の希望を聞き、買い物にも一緒に行き、食事や配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒に行っています。また、食事の彩りなどにも配慮されているほか、おおよそのカロリーが把握され記録されています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日午前中から遅番の職員が帰るまで入浴できるようにしています。入居される前から入浴を拒否されていた方にも、以前からの生活習慣を把握したり、職員も一緒に入浴することなどによって入っていただけるようになっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	庭のバードテーブルに集まる小鳥への餌やり、俳句、布巾縫い、毎日のカスピ海ヨーグルトづくりや食事の準備、片付け、合唱など一人ひとりの生活歴や興味によって役割や楽しみごとの支援がされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の食材の買い物、春採湖での散歩、別保公園・昆布森・湿原展望台・恋問館などドライブをかねた外出など、希望に添って出かけられるように支援しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を十分理解し、自由に出かけられるよう取り組んでいます。また、利用者が外出する時は、職員がさりげない見守りができるよう配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置され、避難訓練も年2回行われています。利用者全員が外に出られるまでどのくらいの時間がかかるか計るなど、具体的な手だてが考えられています。避難訓練は地域の方たちにも案内がされています。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士が職員として配置され、利用者の好みと栄養バランスを考えて献立が作成されています。一食ごとのカロリーが計算され、食事と水分の摂取量も把握されています。また、個別の嚥下状態などによる支援も実施されています。</p>		<p>一食ごとのカロリーは概ね把握され記録されていますが、今後はおやつや飲み物のカロリーも把握し一日の総カロリーを把握する予定です。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>壁には絵画が飾られているほか、利用者さんの作品でもある季節の飾りや作品展にも出品された大作の貼り絵、行事や外出時に撮られたA4版の写真などが飾られ、居心地よく過ごせるような空間になっています。窓からは春採湖が一望され、遊歩道を散歩する方たちの姿も見られます。気になる音や光などは感じられませんでした。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には使い慣れた家具などの他に、ご家族の写真が飾られていたりそれぞれの方の信仰に基づいたものや大切な勲章などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっています。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。